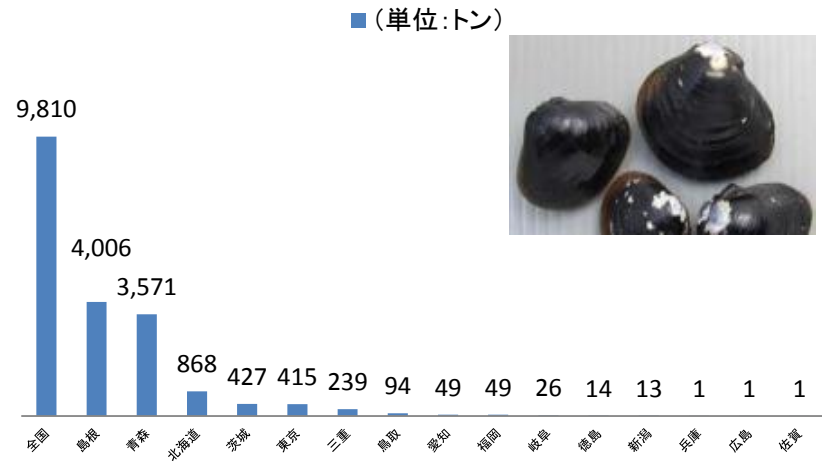


都道府県別のシジミ漁獲量



シジミの味噌汁

(出典:平成27年漁業・養殖業生産統計(概数値)より)

宍道湖の漁獲量について

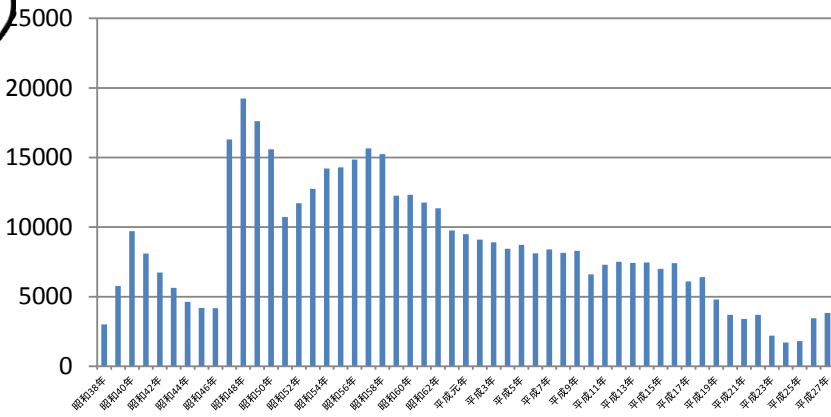
「ヤマトシジミ」は、宍道湖を代表する水産物で、1年間で宍道湖で採れる水産物の90%以上を占めています。



島根県観光キャラクター
「しまねっこ」
鳥観連許諾第3823号

島根県で採れるシジミ
のことを紹介するにゃ～

宍道湖のシジミ漁獲量の推移



(出典:宍道湖漁業協同組合「農林統計」より)

宍道湖の漁獲方法

① 機械掻き(動力操業)

8～9mのディーゼル機関船に30～40kgある大型の「ジョレン」を結びつけ、船の推進力で「じょれん」を引き、シジミを掻きとる漁法。

現在の宍道湖で最も広く行われている漁法です。



② 手掻き

6～7mの船外機船で漁場に移動し、船の上から人力で10kgあまりの「じょれん」を使って湖底を掻く漁法。



③ 入り掻き

漁師さんがウエットスーツを着て、15kg程度の「じょれん」を持って湖につきり、人力で後進しながらシジミを採ります。シジミが多い所では、足の裏にシジミがいることを感じる事が出来るそうです。



漁業のルール

シジミを長く漁獲するために、昭和48年から漁獲規制が行われています。

漁師だからといって自由にシジミを取ることはできません。

シジミ漁業にはきちっとしたルールがあり、破れば厳しい罰則があります。

漁獲は、1人1日約90kgまで。

1週間のうちに4日間、漁を休みます。もし、このルールを破る人がいたら、近くの漁師さんまで、連帯責任で休まなければなりません。

1日にシジミをとっていい時間が決まっています。

漁が禁止されている場所や、手掻きしかできない場所が決まっています。

小さなシジミを取らないように、ジョレンや選別機の規格が定められています。

ワカサギやシラウオの産卵場所を守るため、しじみ漁が部分的に禁止される場合があります。



鋤簾(じょれ)

島根県

～家計調査結果～



あっぱれくん

島根県は四季おりおりの自然にめぐまれています。

最高の旬の味わい！



しじみ姫

松江市（まつえし）

さばの購入数量

順位	都道府県庁所在市	単位：g
	全国	1,082
1位	松江市	1,907
2位	鳥取市	1,792
3位	北九州市	1,746
4位	鹿児島市	1,482
5位	和歌山市	1,444



出典：「家計調査結果（二人以上の世帯：平成25～27年平均1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量）」（総務省統計局）

シジミの購入数量

順位	都道府県庁所在市	単位：g
	全国	405
1位	松江市	2,064
2位	秋田市	971
3位	水戸市	926
4位	青森市	843
5位	新潟市	842



出典：「家計調査結果（二人以上の世帯：平成25～27年平均1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量）」（総務省統計局）

豆類の購入金額

順位	都道府県庁所在市	単位：円
	全国	525
1位	松江市	759
2位	京都市	739
3位	岐阜市	698
4位	北九州市	696
5位	神戸市	687

出典：「家計調査結果（二人以上の世帯：平成25～27年平均1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量）」（総務省統計局）

松江市の観光スポット

食、観光、なんでも

島根は、魅力いっぱい！



武家屋敷と堀川遊覧



国宝に指定された松江城



宍道湖の夕日